

平成19年9月議会 一般質問

質問事項

2番、帰山でございます。議長の御許可をいただきましたので、壇上よりの質問を行わせていただきます。

今回の市議会議員選挙におきまして、初めて議場へ出させていただきました。初質問でございます。不勉強、調査不足等のところもございます。また、理事者の方々、諸先輩の方々にも失礼な点があるかと存じますが、あらかじめ御容赦願います。

それでは、質問をはじめさせていただきます。

さて、御存知のとおり、現在、社会保険庁は年金問題で揺れております。平成20年に同庁の業務の分割が始まる予定です。所轄の社会保険病院も、その流れの中で存続が試されるようです。

当勝山市にあります福井社会保険病院は、奥越地域の医療の中核を担う施設の1つであります。その前身は町立勝山病院であり、現在は、社団法人全国社会保険協会連合会が同庁から経営委託を受けている施設です。社会保険庁の廃止の流れの中で、今後は年金・健康保険福祉施設整理機構に移管される予定と聞いております。

平成14年厚生労働省の通知によりますと、社会保険病院の経営方式は、2年間の経過措置の後、すべてが、民間もしくは独立行政法人への転換を求められております。不勉強のため、経過措置終了後の平成17年におきまして、どのように処理されたかが不明でございますが、2年間の暫定期間がおかれ、平成19年度に持ち越されたように聞いております。

また、厚生労働省は、さきの通知の中で、社会保険病院を次の3つに分類しております。1つ、単独で経営自立ができる病院、1つ、単独で経営自立は困難であるが地域医療にとって重要な病院、1つ、その他の病院。1、2の病院につきましては、はっきりと新しい形態への移行を求めており、2の病院、単独で経営自立は困難である病院ですね。さらに経営存続のために地域の支援を求めております。そして、不採算施設は廃止が検討されているようです。また、現在は黒字経営の施設も、経営母体が民間へと移譲されるため、結果として、固定資産税等の税負担発生のため赤字化が予想されています。

そこで、福井社会保険病院が、今後存続できるかどうかを、まず伺いいたします。あわせて、その経営母体はどうなるのか、現在までの状況をお伺いするところです。

また、現在、同病院では産科が休診となっており、再開のめどもありません。全国的に、同病院規模であります200床未満の病院においては、医師不足等により、廃院、売却、診療科目の休診等が多く見受けられます。あるところでは、まず最初は内科であり、内科医が5人いても、1人の欠員が出ると勤務体系が極めて厳しくなり、シフトが維持できなくなる。過労のためさらに欠員を招き、最終的に休診になってしまうケースが多く、同病院でも、今後、十分に考えられるという話も聞いております。

そこで、同病院においても現状維持で存続できるかどうかもお伺いいたします。

さらに、もし、これらすべてにおきまして見通しが立たない状況ならば、勝山市として、今後、その存続に向けてどのような活動を行う予定なのかもお伺いいたします。

次に、当市の公関係の情報システムについてお伺いいたします。

さきの市議会議員選挙時の開票速報におきまして、当市のホームページが長時間にわたってアクセスができないう状態となりました。当日は同ページ上で開票速報が行われており、そして、翌日は新聞休刊日に当たり、選挙結果を知るために一般の方々から多数のアクセスがあったと推測されます。後日、県外の方々からも、「選挙結果がわからない」とのお声もいただいております。

現在のホームページの使用状況から、一時的な閲覧の不可が業務等に大きな支障をもたらすものとは考えられませんが、今後、災害時に利用すること、また、長時間にわたる閲覧が不能なことが続くことには問題が多いと考えます。以前、雪おろしの詐欺事件がヤフーニュースに掲載された折、大長山遭難事件の折にも同様の状態であったようです。

一般に、アクセスの増加による障害ならば、サーバー装置、もしくはファイアーウォール装置の能力不足が考えられます。イントラネット整備事業で設置されたシステムであるならば、既に耐用年数を迎えており、さらに、当時

と比較すると、著しくインターネットの普及が進んでいるため、ファイアーウォールの同時接続数制限等により、ウェブサーバー用途としては能力不足が考えられます。

早急な対応をお願いしたく、今後の対応策をお伺いいたします。

また、他市町村で導入の進む緊急時の同報メールの導入予定はあるのかどうかをお伺いするところです。

当市においても、子供たちの安全確保の一環として、また、災害発生時の連絡方法として、災害発生時にも対応できる多重化されたシステムが必要かと考えますが、いかがでしょうか。

なお、現在のウェブ、メールシステムが、電源の確保等を含め、災害時にも対応できるのかどうか、あわせてお伺いいたします。

続きまして、学校の再編及び教育施設関係についてお伺いいたします。

勝山南高校の再編問題につきましては、以前問題となり、確か平成19年度をめぐりに結論を求めるような対応がされたと記憶しております。同校は、一部の学科において募集人員の定員割れが続いているようですが、その後の状況についてお伺いいたします。

あわせて、勝山・大野地区に建設が予定されております奥越養護学校の現在の進捗状況も御報告いただきたいと思えます。

さらに、昨年度検討されました小・中学校の統廃合につきましては、小・中学校の望ましいあり方検討委員会の最終報告を読みましても、具体的な方法論、時期が見えません。同報告書にもありますとおり、少子化はもはや現実であり、平成24年には全生徒数が50人を割り込む学校が3分の1となります。子供たちの教育におきまして、どれぐらいの学校規模が最もよいのか、意見が分かれるとは思いますが、これ以上、問題の解決を先送りしましても、子供たちの教育によくないと考えます。

地域性もあり、困難なことは重々承知しておりますが、勝山市としての今後の明確な方針を伺います。

また、近い将来、統廃合はやむを得ないものと考えますが、そうした場合、廃止された施設の再利用について、検討したことがあるのかも伺いいたします。

現在、耐震強度の調査が行われ、その結果を見て補強計画が作成されると思えます。ぜひとも、後日、無駄づかいであったと指摘されることのない計画をお願いいたします。

ここから先は体育館の件でございますが、若干、視点が違いますので、質問を続けさせていただきます。

2018年には、国民体育大会が再度、福井を会場とする動きがあるようです。現在の市営体育館は、さきの国体の折に、高校2校の合同体育館として建設されております。大変な老朽施設です。耐震の面でも不安が残り、現在の施設水準の要求に耐え得る施設とは考えにくいところです。床下浸水をしたこともあり、災害時の避難場所としても不安が残ります。

ここ何回かの市議会等の御答弁の中では、建て替えが視野に入っているようですが、場所、規模等につきましては、現在の状況をお伺いいたします。

県内他市町村の新しい施設を見ると、ほとんどが、本体育館、サブ体育館及び管理棟などの付属施設で構成されています。また、サブ体育館は、バレーボールコート2面程度、主体育館はその2から3倍程度の規模となっているようです。

御存知のとおり、バドミントンをはじめとして、当市においてはスポーツが非常に盛んであり、春夏秋冬を問わず行われております。そして、その成績も、性別年齢を問わず大変素晴らしいものがあります。惜しむらくは、大きくて天井の高い体育館でのプレーの経験に乏しく、会場負けし、その実力を発揮できずに大会を終えてしまう子供たちが多数見受けられることです。大きさに慣れていれば、天井の遠近感に惑わされなければ、「たら・れば」の世界ではあります。経験で解決できる問題ではないでしょうか。勝山の子供たちにも、もう一段高いレベルへ登ってほしいと願うのは私だけでしょうか。

建設費を見ますと相当な金額とはなりますが、何とか建設をお願いする次第です。

また、他市町村におきましては、総合運動公園の一部として建設されているようです。確かにスポーツは、レクリエーションの延長上にもあります。また、どのようなスポーツにしても、走力、持久力、瞬発力等を必要としてなり立っていることを考慮しますと、やはり競技場、公園、一体となって整備されるべきではないでしょうか。整備に当たりましては、単独事業としては余りにも規模が大きくなりますから、補助金が必要と思えますが、現在考えられる

補助金を さがしていただきたいと思ひます。

また、体育館候補地として市街地という話も聞こえますが、現在考えられる候補地を、よろしければお知らせください。

いずれにしても、今後50年間は悔いなく使用できる施設の計画をお願いいたします。

最後に、勝山市内に道の駅を建設することができないかをお伺ひいたします。現在、奥越地域には、九頭竜駅に併設して設置されているのみです。福井、白峰方面からはトイレ程度しかない状況です。勝山の特産品を常時販売できる場所として、また、観光案内の核として、近隣に設置してもよいと思ひます。

従来より、地場産業センターで代用できないか検討されているようですが、同事務所は一本奥に入った場所にあります。みずから旅行に行った場合を考えますと、特に目的がある場合は別といたしまして、国道横の道の駅にしか立ち寄らないと思ひますが、いかがでしょうか。そして、そこから情報を得て、他の観光 スポットに立ち寄るケースが多いと思ひます。

ただ、私も調査不足ではありまするが、道の駅の設立要件はさほど厳しくないようで、設立母体も、市町村または市町村にかわり得る公的な団体となっているようです。

ぜひとも、勝山市に道の駅の設置を御検討いただきますようお願ひ申し上げます。

以上をもちまして、壇上からの質問を終わらせていただきます。

回 答

山岸正裕市長

学校再編の時期と教育施設の充実についてお答えいたします。

まず、勝山南高校の再編問題と奥越養護学校の現在の状況については、平成17年の県の重要要望の際に、県立学校の再編については2年後に検討していく予定であり、それに伴い、奥越養護学校についても検討していくことになるという趣旨の回答がありましたので、勝山南高校も含めた県立高校の再編について、今年度中に検討されるというふうに理解をしておるところであります。

また、奥越養護学校につきましては、今年度の県への要望事項は7月19日に行いまして、奥越養護学校の設置についても、その中で要望いたして おります。その際に、先ほど申し上げました、平成17年度要望時の2年後、つまり、平成19年度に県立学校の再編と奥越養護学校について検討するとの回答 をもとに、今年度、いつからこれらの話が進んでいくのか、計画等を示してほしいと強く求めました。しかしながら、具体的なものは示されなかったわけであり ます。

私は、今、県立大学の近くにある嶺北養護学校を視察をいたしましたけれども、非常に生徒数が多くなっておりまして、教室、職員室ですね。それから、特別室とか体育館も、すべてが狭隘になっております。一部、体育館の中に机を持ち込んでやっているという、そういうふうな現状も見られましたし、倉庫スペースがもうなくなってしまっているものですから、校舎と校舎の間にプレハブの倉庫をつくって、それを使っているというくらい狭隘なところで、教育環境としては、まことに劣悪であるということも重々申し上げておるんですが、なかなか県が動いてくれないということについては、これは非常に問題だと思ひます。勝山とか大野につくるという以前に、もう既に嶺北養護学校は、教育施設として、その狭隘さについては限界にきているというふうに私は感じております。

したがいまして、これからも知事、県の教育長にもさらに強く要望をいたしてまいります。

また、今後とも、地元県会議員とも連携を図りながら、早期に具体的な策が県から出されるように求めてまいります。

次に、小・中学校の統廃合につきましては、平成16年度に勝山市の小・中学校の望ましいあり方検討委員会を立ち上げ、3年間、慎重審議をしましてまいりました。最終報告として、平成19年3月19日に検討委員会報告書が検討委員会委員長より提出されました。

統廃合を行う時期につきましては、報告書にありますように、小学校では、児童数が30人を続けて切るとき、または、30人以上であっても、統廃合を望む 意見があるときは、その該当校区で検討委員会を設置いたします。中学校では、少なくとも1学年2学級程度の人数を満たさなくなった場合には、当該校区で 検討委員会を設置を

いたします。

ただ、時期につきましては、学校統廃合を考える基礎資料とするために実施した「勝山市の望ましいあり方の小学校の統廃合についてお尋ねします」というアンケートの問いに対しまして、小・中学校の保護者 1,369名から回答を得、「今は統廃合しない」「児童数の減少によっては、今後、統廃合も やむを得ない」と回答している保護者が約90%。幼稚園・保育園の保護者492名の調査では、約75%の方が「今は統廃合はしない」けれども、「児童数の減少によっては、今後、統廃合もやむを得ない」と回答をされておりますので、報告書で述べられておりますような条件になったときに統廃合を行う時期だという ふうに考えております。

また、統廃合の方法につきましては、当該校区で意見を集約した段階で、審議会を設置するかどうか検討し、進めてまいります。

ただ、統廃合を実施する場合には、地区の方々の御意見をお聞きし、慎重に審議し、地区の同意を得ることが大切だと考えております。

次に、学校が廃止された場合の学校施設再利用の検討についてお答えいたします。

勝山市では、北谷小学校が廃校後、子どもの村小学校として再利用されている事例もありますが、いわゆる統廃合後の施設の再利用は、小・中学校の望ましいあり方検討委員会では検討いたしてはおりません。

今後、統廃合の情勢を慎重に見極めるとともに、地元の御意見や補助金の返還とならないよう、他市の事例などの情報を収集し、さらに、耐震診断結果を踏まえ、施設を再利用する場合の検討をまいります。

次に、市営体育館についてお答えいたします。

市民の皆様方から総合体育館の建設要望が強いことは重々認識をいたしております。建設時期や規模、場所等、補助制度採択要件の研究も含め、意欲を持って取り組んでまいりたいと考えております。

また、現市営体育館の耐震性につきましても、来年度に耐震診断を行い、その結果を踏まえ、対応を考えてまいります。

石倉充男健康長寿課課長

御質問の、社会保険庁解体後の福井社会保険病院の存続についてお答えいたします。

福井社会保険病院の経営母体であります社会保険庁については、当初は平成20年10月に廃止予定でしたが、現在の状況は、平成22年1月には廃止されることとなっております。

現時点で全国に52か所あります社会保険病院については、議員御指摘のように、その存続については、国が3つの分類を示し、その後、全国組織であります全国社会保険協会連合会において、その後の体制を検討していくことになっているというふうに伺っております。

そういう状況でございますので、福井社会保険病院が今後とも現在の状態で存続できるかどうか、また、その経営母体がどうなるのかという御質問につきましては、現在、お答えできる状況にはございません。

また、平成19年4月から産婦人科医が1人となったため、分娩の取り扱いが困難となってしまいました。そこで、そのほかの診療科についても、医師不足による影響がないかを福井社会保険病院にお聞きしましたところ、現在のところ、そのような問題は発生していないということでございました。また、病院の言葉 いたしましては、現在の医療体制を堅持するよう努めてまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願いしたいというようなことでもございました。

市と福井社会保険病院の間では、病院の運営について重要な問題が発生した場合、速やかに連絡が入るようになっておりますので、そのようなことがございましたら、皆様に改めて報告をさせていただきたいと存じます。

いずれにしましても、福井社会保険病院は、奥越における二次救急医療体制の中核医療機関としても大きな役割を担っておりますので、本市といたしましても、市民が安心して医療サービスを受けられるよう、県をはじめ大野市と近隣の市町とも連携する中で、医療の確保に努めてまいります。

松村誠一総務部長

次に、勝山市の外部向けサーバーについての御質問にお答えいたします。

さきの市議選における開票速報を当市のホームページ上で公開した際に、アクセスが一時的に集中したため、

公開用サーバーが停止をいたしました。これは、議員御指摘のとおり、サーバーの能力不足のため最大アクセス可能数に制限があり、これを大きく超えるアクセスがあったことが主たる原因であります。

このサーバーは6年前に設置したもので、現在では能力も低いため、災害時など大量のアクセスが集中する事態になった場合には、今回と同様に、閲覧不能状態に陥る可能性は高いと考えます。

このような現状を改善するため、来年度に新サーバーを構築する方向で検討してまいります。

また、緊急時の一斉メール配信につきましては、来年度に導入すべく検討いたしているところでございます。

最後に、現在のメールのシステムが災害時に対応できるのかという御質問ですが、当市のサーバー類、主要なネットワーク機器類は、サーバー室に集中配置をしてあります。ただ、市庁舎そのものが耐震構造において十分でない点、また、サーバー室の電源の二重化がなされていない点から、災害時には情報発信の心臓部が脆弱であると考えています。

したがって、現在、市庁舎の耐震補強計画に着手をいたしておりますが、平成20年度以降予定しております耐震補強工事の中で、これらの点について対応してまいる所存でございます。

上田秋光建設部長

道の駅についてお答えいたします。

まず初めに、道の駅について御説明させていただきますと、近年、長距離ドライブや、女性や高齢者のドライバーが増加する中で、一般道路でも安心して利用できる休憩のための施設が求められています。道の駅の共通コンセプトは、道路利用者の休憩機能、道路利用者や地域の方々のための情報発信機能、道の駅をきっかけにまちとまちとが手を結び合う地域の連携機能の3つの機能をあわせもつ休憩施設として道の駅が誕生いたしました。これらの休憩施設では、地域の文化、名所、特産物などを活用して、多様なサービスを提供することが望まれています。

道の駅は、おおむね10キロ以内に重ならなければ建てられるんですが、道の駅は、駐車場、トイレ、電話の基本的な休憩施設と、地域の自主的工夫がなされた、市町村等が整備する地域振興施設の複合施設として構成され、建設されるものです。

現在、全国で道の駅として登録されていますのは868か所ありまして、福井県では8か所ございます。

しかし、最近は、建設費、施設運営経費が多額になることから、既設の施設を活用し、道の駅のコンセプトを満たし、資料を添えて申請し、道の駅として登録するところが出てきています。

先ほど、質問の中で出ていました地場産センターの活用のことですが、センターは、観光地にも近く、駐車場、トイレが完備しており、情報案内機能もあることから、市では現在、センターの有効活用を進めております。既に水曜日の朝、試験的に野菜の即売をしておりますが、今後、農産物、特産物などの地場産品販売を拡大していく方針です。

センターは国道沿いではありませんので、国道を通過する自動車が見えるよう、案内看板の設置で誘導していく計画をしております。道の駅機能を持つ施設は、勝山市を訪れる方にとっては大切な施設ですので、同じようなまちの駅も含め、今後、検討してまいりたいと思います。

2番 帰山寿憲

大変細部にわたる御回答、ありがとうございました。

時間が許すようですので、要望をお願いとを申し上げます。

先般、奥越病院が保険診療の不正使用に端を発します問題により、とうとう廃止届を提出しました。大変残念なことであります。もし、社会保険病院がその存続の危ぶまれる状態になれば、その影響は奥越病院の比ではございません。

今回に関しまして、実は決定しました。もう変更はできませんので、御了解くださいと、そのような状態ではませることは絶対できません。同病院の存続につきましては、その執事から、勝山市に責の一端があると考えます。

今後の積極的な存続へ向けての働きかけを強く要望する次第です。

病院として、病院と話してだめなら、その上部機関と、さらに、もし立ち行かないのなら買い手をさがすべきですし、税金等の優遇措置も視点に入れて話を進めていただきたいと思います。

医療法人として独立していただければ、市税等の収入もふえますし、願ったりかなったりでございますが、現状では、そのようなよい状況ではとてないと考えるところです。よろしく願いいたします。

外部向けサーバーにつきましては、その更新を視野に入れて御検討いただいているということで、大変ありがとうございます。

ただ、サーバーというシステムというものは、その電源の安定稼働が最低にして最高の条件でございますので、そのあたりの確保を何とかお願いしまして、早急な対策をお願いいたします。

ことは、幸いにしまして現在のところ大きな台風もなく、子供たちの集団下校等もございません。しかし、秋も深まりまして、クマ等の出没によりまして、下校時間等が変更になることもございます。子供見守り隊の方々からも、そういうときに連絡手段がほしいとの要望も伺っております。外部委託も含めまして、個人情報保護の観点がございますが、メールシステムの早急な導入をお願いしたいと思います。

県立高校の統廃合、小学校の統廃合につきましては、今、市長から丁寧な御回答、ありがとうございます。

まず、市の子供たちのために、今一度、県側との慎重なる交渉をお願いしたいところです。

小学校の統廃合につきましては、大胆かつ慎重な御判断をお願いしたいと思います。

次に、体育施設ですけれども、いささか個人的ではございますが、体育館と一緒に陸上競技場等も御整備いただけたらと思います。価格的には、第3種競技場ならば、体育館に比べまして約半分程度の金額でできるということでございますし、近年、サッカー人口がふえていることも考慮いただきたいと思います。観客席を整備しましたコートが勝山にあってもよろしいかなと考えます。

他市町村がそうであるから、勝山にもそういう施設がほしいと申し上げているわけではございませんので、そこにスポーツ施設として必然性があるからお願いしております。思い起こせば、勝山市の整備計画の中では、同一時期に体育館と陸上競技場があったと思います。よろしく願いいたします。

最後に、道の駅でございますが、各議員の答弁の中で、勝山市内に呼び込むための客数の基本は、現在の客入り数が120万人であり、エコミュージアム等の構想、白山平泉寺の世界遺産登録申請により、さらなる増加を見込むものと思われまます。

私は、京都に家族で生活したことがございますが、驚くべきことが1つございます。それは、雁が原スキー場の意外な知名度の高さでございます。子供が楽しく滑れるスキー場として、関西圏内では、その知名度というのは驚くほど高いものがございます。近年、雪不足で厳しい状況が続いておりますけれども、この資産は、ぜひとも有効に活用していただきたいと考えております。また、スキージャム頂上からの展望もすばらしいものがあります。

みずからが観光客となり、勝山を訪れた視点で見たときどうなるかを考えてみていただきたいと思います。一度車を降りましたら、市内の次の目的地には、もう一度車で移動するということは、自分でもなかなか行けません。お土産等も、特に目的、このお土産がほしいと目的があれば別でございますが、宿泊地、見学地、休憩地近辺のどこかで購入することが多々ございます。食事にしても同様であります。

ここでひとつ、極端で非現実的なお話をさせていただきます。例えば、長尾山、雁が原、スキージャムを結ぶゴンドラがあったとします。そこから様々な発展というものが考えられないでしょうか。

ここ2、3年のうちにスキージャムでスキーをされた方はおられますか。西日本最大級、確かにそのとおりにもしれません。ただし、あのスキー場には非常に欠点があります。アクセス道路の問題ではございません。あのスキー場は悪天候に弱い。これはかなりの県外の方が口をそろえておっしゃることです。それは、日本最大級の最上級のクワッドリフトしかないという問題です。降雪・降雨時に一度、あのスキー場でスキーをしてみてください。リフトを1本降りるごとに体が震えます。もう二度と滑らんぞと、そういう気持ちになります。ゴンドラをつければ、このような問題は解決しますし、用地もあるようですが、しかも、ナイターもできるようになります。しかし、予算等を含め、様々な問題がございます。夢物語となります。しかし、まずできることから何とか進めていただきたいと思っております。

平泉寺の菩提寺の参道がございます。勝山城もございます。そして、その近くに平泉寺荘もございます。勝山には様々な施設が点在しております。しかしながら、それらが有機的に機能しないのはなぜでしょうか。既存にこだわるわけではございませんが、有効的に活用できる施設があるならば利用すべきでありますし、その水先として、

ぜひとも道の駅を設置していただきたいと思います。

その経営母体が、夢でありますゴンドラの運営会社でも結構ですし、勝山市でも結構ですし、地場産センターでも結構です。地場産品を売ることもできます。アンテナショップも可能です。そこでキャンプもできる道の駅もございます。仮設の左義長やぐらをつくって披露することもできるかもしれません。非常時の基地として有効な活用も果たせるかもしれません。そこへ行けば次がある。ぜひとも、そんな道の駅の設置をお願いいたします。最後に、本日、新聞に発表されました土地の基準価格につきまして、勝山市におきましては、いまだ下げ止まりの感がございます。今後、税収等の減少で、さらなる財政の緊迫化、引き締めが続くかと思えます。

市長以下、理事者の方々に夢のある市政を築くことを期待いたしまして、終わらせていただきます。

どうもありがとうございました。